



平成 19 年 9 月 26 日

各 位

会 社 名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号 4524 東証、大証各第 2 部)
問合わせ先 取締役経営企画室長 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 23 日の決算公表時にお知らせしました平成 20 年 3 月期(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)中間期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想の修正

(1) 中間連結業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	4,000	80	40	20
今回修正予想 (B)	3,600	130	100	130
増減額 (B-A)	△400	50	60	110
増減率 (%)	△10.0	87.5	150.0	550.0
前年中間期実績	4,166	△667	△789	△806

(単位:百万円、%)

(2) 中間個別業績予想数値の修正(平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	3,800	25	20	10
今回修正予想 (B)	3,400	100	70	100
増減額 (B-A)	△400	75	50	90
増減率 (%)	△10.5	300.0	250.0	900.0
前年中間期実績	4,028	△701	△809	△819

(単位:百万円、%)

2.修正の理由（連結・個別共通）

前年下半期より販売戦略の見直しによる利益重視の経営戦略に転換し、黒字経営への様々な施策展開を強力に進めておりますが、本年度上期も利益率の高いビジネスモデルへの転換や経費の合理化を徹底したことにより、売上高は計画比 1 割程度落ちるものの利益は期初予想以上のものを確保できる見込みとなりました。

特に、健康食品の通信販売を中心とするヘルスケア分野では、コアマーケットのシニア層に対して 100 年の信頼のブランドを背景とした販売促進手法を徹底させましたが、安易な価格引下げを抑制したことから売上高は減少する見込みです。

一方 シームレスカプセルのパイオニアである当社カプセル受託事業では、国内外の収益性の高いプロバイオティクスや機能性カプセルの受託に注力しましたが、菓子を中心とした海外大口案件が一段落していることもあり、売上高は期初予想に比べて減少する見込です。

但し、前年度に実施した減損会計に伴なう減価償却負担の軽減や、経費の効率化の徹底などにより経費は大幅に圧縮されたこともあり利益は当初予想に比べて増加する見込みです。

また、ポートフォリオの見直しによる一部の投資有価証券の売却により、特別利益が 70 百万円程度発生する見込です。

なお、通期の連結・個別の業績予想につきましては、本年 9 月 20 日新発売した「お口の礼節シリーズ」に続いて、下半期にも新製品やリニューアル品の発売があるものの、新工場移転計画に即応した外注生産の増加および経済情勢の不透明さもあり、現時点では平成 19 年 5 月 23 日の公表数値の修正は行いません。今後、見通しがより確実になり次第、速やかに開示いたします。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上